

平成 27 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,603,657円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,412.06㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,150	12,874	15,561	13,948	15,367
	移動児童館利用者数	189	211	149	196	466
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	4	6	3	3	9
	開館日数(単位:日)	156	151	156	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤職員)、常勤職員2人。(所長含め児童厚生員3人)。 ③おたより「あそぼっけ」、「幼児版あそぼっけ」を発行・配布し、児童館ホームページに掲載。ぶりあネットへの登録。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケート結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②ボランティアの協力を得て、環境美化の行事を行っている。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電を実施。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③について、マニュアル等に沿って適切に実施。事項対応マニュアルを作成して、設置している。防災訓練を月1回実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成27年7月9日～7月16日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数30人
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブの満足度について ・満足22人(73%)、ほぼ満足8人(27%) ○職員の満足度について ・満足27人(90%)、ほぼ満足3人(10%) ○施設の満足度について ・満足13人(44%)、ほぼ満足16人(53%)、やや不満1人(3%) ○意見等 (幼児クラブ)・毎回、来るのが楽しみ・毎回、楽しいことを考えてもらい、親子で楽しい時間を過ごせた。・家ではできないあそびがあり、子どもがとても喜んでいる。・なかなか積極的に参加できない我が子ですが、少し参加できた時に「今日は参加してくれましたね」などと声をかけて下さり、よく見ていただけていることがうれしい。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	○要望⇒回答 ・まだ絵本を借りたことはないですが、年齢別においてあると分かりやすく借りられるかなあと思います。 ⇒長森児童センターでは、50音順(作者名)で分けています。絵本選びでお悩みの際は、相談に応じますので、職員に声をかけて下さい。 ・幼児(0歳や未就園児)のイベントを増やして欲しい。⇒毎月の行事で参加いただける企画がありますので、ぜひ、ご参加下さい。 ・毎朝、体操や手あそびなど、少しの時間で良いのでやって頂けると、通う回数が増える。⇒幼児クラブや各サークルの活動があり、現状では開催が難しいです。すみません。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	B	B
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援事業を積極的に行い、子育て不安軽減のため、努力した。 ・乳幼児と保護者対象の登録制幼児教室を実施した。(34回)(夏休みの水あそびを含む) ・0歳児対象自由参加のクラブで回数は前年度上半期と同じ(5回)だが、参加者が23%増加した。(82人が101人) ・1歳児以上対象自由参加のクラブの参加者が前年度上半期より8.5%増加した。(269人が292人) ○子育て不安を抱える保護者への相談支援を上半期6回実施し、31人の相談者の受け入れをした。(前年度の同期より15人増) ○回覧板を実施した。(27年度上半期3000部) ○圖書の貸し出し上半期 355冊
前回までの意見を踏まえた取組み状況	26年度下半期にご指摘を受けた、「児童館のない地区との連携を深める」という点について、運営委員会でお話をしたところ今まで実施したことのない団体から依頼があり、下半期には回数が増える見込みである。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○回覧板の活用について ・数年前の運営委員会の際、「紙ベースのPRを」という提案を頂き、年に6回実施している。各家庭のいろいろな世代の方の目に止まるようになり、回覧板を見たおじいさん・おばあさんが来館をして下さることもある。徐々にではあるが、効果が表れてきていると思われるので今後も継続していきたい。 ○移動児童館について 各種団体に積極的に働きかけを行い、移動児童館の回数増加を目指す。 ○小学生の利用者数が前年度より減少しているため、行事を検討するなどして利用者増を目指したい。

●所管課の意見

<p>毎月の児童センターのおたよりを担当小学校へ配布のほか、公民館やコミュニティセンターに配置、及び地元自治会の回覧板を利用するなどの広報活動を行っている。</p> <p>登録制幼児教室(34回)及び自由制幼児教室(5回)の開催のほか、子育て不安を抱える保護者への相談支援を上半期6回実施し、前年度同期より15人増の31人の相談者の受け入れを行った。また、地域の青少年育成協議会主催の「親子ふれあい教室」の支援を行うなど、子育て支援事業を積極的に行っている。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>臨床心理士による保護者への子育て相談を行ったほか、主任児童委員と定期的に連携を持つなど、保護者の子育てへの不安に関係機関と協力して継続的に支援したことは評価できる。</p> <p>アンケート等の利用者要望を分析し、さらなる満足度向上、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>適正に管理運営が行われており、良好と認められる。</p>
